

愛寿会だより

1 月号
第 199 号
平成 28 年
1 月 10 日発行



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

一月四日(月)午前九時から平成二十八年新年互礼会が執り行われました
小宮山理事長から年頭の訓示をいただき、出席した職員は新たに
「和」の心に思いをいたし、業務にまい進する意欲を確かめました

開会に当たり、愛寿会「三つのモットー」と「七つの誓い」を職員一同で朗誦しました。

◇ 愛寿会・三つのモットー

- 「利用者本位のサービスの実践」
- 「専門性の活かせる職場づくり」
- 「地域社会との協働と貢献」

◇ 愛寿会・七つの誓い

- 「はい」という
素直な心を持ちましょう
- 「ありがとうございます」という
感謝の心を持ちましょう
- 「どうしましたか」という
気遣いの心を持ちましょう
- 「させていただきます」という
奉仕の心を持ちましょう
- 「すみません」という
反省の心を持ちましょう
- 「おかげさま」という
謙虚な心を持ちましょう
- 「そうですね」という
分かり合う心を持ちましょう

配置替三名及び、新採用一名に辞令が交付された後、小宮山理事長から年頭訓示がありました。冒頭、「門松は冥土の旅の一里塚めでたくもありめでたくもなし」を披露されました。

人生の節目となる門松を飾り、新年を迎えられたことに感謝の気持ちを抱き、これからもその気持ちを忘れずに、職務に当たれることを諭されました。

次に「和(やわらぐ)を以(も)つて貴し」を挙げ、「柔軟」な姿勢から「協調」の心を育むことに思いを致し、それがやがて強固な組織を構築することに繋がることを説かれました。

「一人はみんなのためにみんなはひとりのために」〈ラグビーのチームプレーの代名詞、「三銃士」でも有名な言葉。ラグビーでは「・・・みんなは勝利のために」と解する。〉を引用されました。

施設において、個々の職員が「チームプレー」に徹して勝利する」ということは、取りも直さず、利用者様・ご家族様に対して質の高いサービスが提供できたことになり、この考えを持ち続けることで、各々が向上して、「更に一枚上のチームプレーを展開してくれることに期待する。」旨を述べられました。



第二〇七回理事会 第四七回評議員会 が開催されました

一、愛寿会就業規則の一部改正

愛寿会就業規則は、法人が施設に就労する職員の仕事条件や規律などを定めた規則のことです。

昨今、メンタルヘルス不調によって休職を余儀なくされる事例が多発しているとのこと。

「休職」は、労働基準法の上では特に規定はありませんが、前記の「就業規則」の中では、極めて重要な規定の一つと位置づけられています。

平成二十六年六月に公布された、「労働安全衛生法の一部を改正する法律」により、「心理的負担の程度を把握するための検査（以下「ストレスチェック」といいます。）」と面接指導等を義務づける制度が創設され、平成二十七年十二月から施行されています。

就業規則上の「休職」「休職期間」並びに「復職」に関する規定を整理し、職員にとって働きやすい職場環境を整備しておくことが急務と考え、就業規則の一部改正を提案いたしました。

また、平成二十八年一月からは、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）」（以下「個人番号（マイナンバー）制度」といいます。）が施行されることになっていきます。

この制度の施行に伴い新規採用の職員が法人に提出することになっている各種の書類等の中に「個人番号」に関する「本人確認」と「身元確認」に必要とされる書類を、就業規則に追加して規定する同規則の一部改正を併せて提案し、いずれも原案のとおり承認されました。

二、一号館東側外壁改修工事に係る専決処分

一 昨年の秋口に、交流センター棟二階の外壁タイルが剥落し、昨年十月から改修工事に着手しておりました。その最中、一号館東側（グループホーム「やすらぎ」出入口頭上付近）に、外壁タイルの剥落の危険が発生し、取り急ぎ「理事長専決処分」として改修工事を行うこととし、理事・評議員の皆様にお諮りいたしました。

工事箇所が極めて危険な場所であり、緊急止むを得ない事象であるとのことご理解をいただき、早速、改修工事に着手いたしました。

三、平成二十七年度 一般会計補正予算

（一）仁生園拠点区分

本年度は、年度当初から介護報酬の減額改定が行われておりますが、事業活動収入の総額では、前年同期と比較しても、僅かな減少に止まっています。ただその内容は、介護報酬が減少した分を、利用者様・ご家族様にご負担いただき、辛うじて凌いでいる状況（表 1）を見ることができます。

支出では、前記の外壁改修工事を行うための「修繕費支出」を新たに増額することになっています。

（二）第二仁生園拠点区分

事業活動における収入・支出の状況は、ともに堅調に推移しています。更に、事業収入を上向きに補正し、経営の安定化に務めます。

（三）社会福祉法人愛寿会

法人全体の収支差額の状況は、事業活動による資金収支差額の黒字分で、施設整備等やその他の活動による収支差額の赤字分を十分に補うことができ、健全な経営が継続しています。（表 2）

資金運用の適正化を図ることを目的とした補正予算は、了承されました。

表 1

各年 11 月末 事業活動収入の状況
【仁生園拠点区分】（単位：千円）

勘定科目	① 27 年度	② 26 年度	差異①-②
施設介護料収入	337,540	340,425	△2,885
介護報酬収入	273,394	281,321	△7,927
利用者負担金収入	64,146	59,104	5,042
居宅介護料収入	67,280	70,266	△2,986
介護報酬収入	57,671	60,110	△2,439
利用者負担金収入	9,609	10,156	△547
地域密着型介護料収入	19,750	20,034	△284
介護報酬収入	17,775	18,031	△256
利用者負担金収入	1,975	2,003	△28
居宅介護支援介護料収入	4,291	4,552	△261
利用者等利用料収入	19,529	13,691	5,838
その他の事業収入	5,041	5,038	3
その他の収入	386	580	△194
事業活動収入計	453,817	454,586	△769

表 2

各年 11 月末 月次資金収支計算書（抜粋）
【社会福祉法人愛寿会】（単位：千円）

勘定科目	① 27 年度	② 26 年度	差異①-②
事業活動収入計(1)	567,172	559,957	7,215
事業活動支出計(2)	471,612	438,445	33,167
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	95,560	121,512	△25,952
施設整備等収入計(4)	1,777	2,660	△883
施設整備等支出計(5)	7,650	21,236	△13,586
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△5,873	△18,576	12,703
その他の活動収入計(7)	400,108	353,839	46,269
その他の活動支出計(8)	402,440	400,793	1,647
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△2,332	△46,954	44,622
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	87,355	55,982	31,373

大運動会

十二月六日(日)、コミュニティーホールにて大運動会を実施しました。

仁生園年間行事の中でも大きい行事の一つで、各班から大勢の利用者が参加されました。始まる前には全員でラジオ体操を行い、体をほぐし運動会に備えました。

紅白のグループに分かれ「玉入れ」「ボール送り」の二種目と、職員による「ムカデ競争」の競技に参加され、皆様一生懸命に取り組みました。



「玉入れ」では、正面の籠に持ち玉を投げ入れるも「なかなか入らないね」「うまく入った」などの会話も聞かれました。その後の職員による玉の数を数える際も全員で「ひとつ」「ふたつ」と数えながら楽しみました。

職員による「ムカデ競争」では、四人対四人の競争を行いました。片足ずつ紐で結ばれた状態になり四人で掛け声を合わせてゴールを目指しました。「がんばれ」「ファイト」などの利用者様からの声援もあり、とても盛り上がりました。

クリスマス会食

十二月二十四日(木)にはクリスマス会食を行いました。

当日の朝からクリスマスソングのBGMが流れ、職員や利用者様もサンタの帽子を被りクリスマス会の雰囲気になりました。

会食では、いつもと違った豪華なクリスマスメニューやクリスマスケーキに「美味しそう」「華やかだね」などの声が聞かれました。各フロアでは、即興によるハンドベル演奏の出し物や全員で冬の歌を唄い、仮装をし、とても盛り上がりました。



メインイベントは、クリスマスソングと鈴の音に合わせてサンタクロースとトナカイが一人一人にクリスマスプレゼントのお渡しです。早速中身を確認して大喜びされる方々。入所者様の素敵な笑顔が職員への何よりのプレゼントになりました。

メリークリスマス!

グループホーム やすらぎ

一月四日(月)・八日(金)の二日に分かれ、北杜市小淵沢の「高福寺」と「身曾岐神社」へ初詣に行つて来ました。

「高福寺」には一〇八の鐘があり、今年も沢山の幸せの願いを込めて一つひとつ叩いてきました。



「身曾岐神社」では神社参拝の作法に従い、手水舎で手や口を清め、鈴を鳴らし拝礼しました。皆様の健康と幸福を願い、幸多き一年になりました。すよう参拝してまいりました。

今年も「家族会」や「小海線電車の旅」等沢山の行事を計画して、笑いの絶えない日々を過ごしたいと思えます。



感謝

平成二十七年十二月一日
平成二十七年十二月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園への ご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。また、ご叱正を賜りながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- ・北杜市長坂町 小林 稔 様
- ・北杜市長坂町 小澤 澄夫 様
- ・北杜市小淵沢町 (有)宮坂自動車 様
- ・北杜市長坂町 坂本 忠征 様
- ・北杜市小淵沢町 浅川 元江 様
- ・北杜市小淵沢町 由井 寿雄 様
- ・北杜市 丸山 和夫 様
- ・北杜市 田中 清彦 様
- ・北杜市 葛窪 滋太 様
- ・北杜市 坂本 啓一 様
- ・北杜市 岩下 正代 様
- ・東京都多摩市 ボランティア活動 様
- ・レクボランテニアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- ・レクボランテニアゆずつこの会 代表 佐野 恭子 様
- ・北杜市 うたなかま八ヶ岳 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 青柳 昭次 様
- ・北杜市 山口 潤子 様

仁生園デイサービスセンター

仁生園デイサービスセンターには、沢山のボランティア様が来てくださいます。

十二月九日(水)には、レクレーションボランティアのほがらか様とオカリナ演奏の二名の方、十二月二十三日(水)には、楽謡甲斐(がくようかい)様が来園されました。

オカリナの美しい音色に合わせながらの合唱や、楽しい愉快なお話を交えながら太鼓や三味線の演奏など、楽しい時間はあっという間に過ぎていきます。

ボランティアの皆様ありがとうございました



「恒例のしめ飾り作り」

十二月後半の手作り作品は「しめ飾り作り」です。

お一人一つ作品を仕上げ、自宅にて新年を迎えられたことと思えます。



第二仁生園

「安全祈願祭」

一月十三日(水)、長坂町小荒間の清水長治神主様にお越しいただき、安全祈願祭を執り行いました。今年で三年目、恒例の新年行事となりました。



第二仁生園多目的ホールには立派な祭壇が作られ、神主様からの一年の健康と安全祈願の祝詞の後、利用者様代表と小林園長に続き職員一同玉串奉奠をしました。

今年は正月から穏やかな陽気でしたが、まだまだ寒い日が続きます。一年楽しく健康に過ごしていきましょう。

「フラワーアレンジメント教室」

十二月二十一日(月)、高根町の保坂多枝子様によるフラワーアレンジメント教室をしました。



オアシスを切って、好みの色のカップへ差し込むところから始め、保坂様から活け方の基本と楽しい花の説明を聞きながら、真剣な眼差しで活けていました。

サンタクロースのステッカーを付け完成です。

愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。

仁 生 園 電話 0551(32) 3340

第二仁生園 電話 0551(32) 8270